



ふれあい西本郷小

令和 2 年度

9月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和2年 8月28日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

地域の歴史を感じて

校長 佐久間 宣朝

夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきて2週間がたちました。今年の夏休みは大変短く16日間でした。また、夏休みは明けましたが、毎日30℃を超す暑い日が続きました。特に児童の下校時の気温が高く、熱中症が大変心配されましたが、保護者の皆様の見守りをしていただき、子どもたちが安全に下校することができました。本当にありがとうございました。

さて、4月より本校に着任し、西本郷小学校の地域の財を調べて歩きました。すると、水再生センターの内の「七石山古墳群」に出会いました。こんなところに横穴式としては国内最大級の古墳群があるなんて思いもありませんでした。以前は一般開放をしていましたが、安全上の理由等から今は入れないようになっています。そこで水再生センターに見学をお願いをすると、特別にご許可をいただきました。とても大切な学習の財となるので、近隣の小中学校の先生方も一緒に学ぶこととしました。また、横浜市埋蔵文化財センターの調査研究員をお招きして、詳しい説明もお願いしました。するとこの西本郷小学校の学区周辺が、大変歴史的価値のある地域であったことがわかりました。



堀跡 鮮やかな古墳内部

今から1500~1600年ほど前から、古墳がつくられたこと。その古墳は100~200年にわたり大切に使われ、この地域にリーダーやその家族などを葬っていたようであること。そのような昔に長期間この地域が皆に大切にされ尊ばれてきた場所であり、リーダーとなる人たちが大切な場所を見渡せる場所を永遠の眠りの地として選んでいたこと。これらのことからこの地域は昔から人々から大切にされていた土地であったことがわかりました。また、それよりも前の縄文時代では、海にも近く貝や海藻や魚がとれ、本郷台から舞岡方面に森が茂り木々の恵みも豊富だったようです。また、川が近くにあり、水資源もしっかりとしていたので、本校の学区あたりは大変に住みやすい環境であり、当時の人々にとっての「高級住宅地」であったとのこと。本校の玄関には、多くの土器や石器が大きな展示棚の中に飾られています。昔の教職員の方々が設置、維持、管理されてきたものでしょう。それらもこの近くから見つかったものが多く展示されています。昭和43年から発掘調査をしたそうですが、その際はこの西本郷小学校に調査員の方々が寝泊まりして、調査したそうです。

古墳以外のことでも教えていただきました。本校の正門前の道路は、鎌倉幕府ができたころからの道で、「いざ鎌倉」の言葉は有名ですが、その時に使われる道だったようです。すると源頼朝や北条政子や代々の執権たちも、本校の前の道を歩いていたのかもしれない。

こうしたことから本校の学区には大きな歴史の流れの中にあり、児童にそうした歴史を伝え、この地域に自信と誇りと愛着をもって、西本郷小学校やこの地域を「ふるさと」として大切にしたいと思っています。また、この9月22日は西本郷小学校の創立記念日で、64周年を迎えます。学校の歴史も子どもたちと学んでいきたいと思っています。